



読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学科名	心理・福祉学部 社会福祉学科
書名	『透明人間—Invisible Mom』
著者名	山本美里 [写真・文]
出版者名	タバブックス
推薦書評 コメント (50字～200字)	<p>医療的ケア児の母親であり写真家である山本美里氏による写真集。山本氏は人口呼吸器が必要な息子が通う特別支援学校に付き添い、別室で待機する日々を過ごしている。「お母さんはなるべく気配を殺しててください」と教師に言われながら。山本氏はブラックユーモアを交えながら校内で待機する自分の姿を撮影し、「見て見ぬふりはするいよ」と読者に訴える。2021年に自費出版された本書を図書館に寄贈させていただいた。その後多くの反響を呼び、各地での写真展を経て昨年末に出版された新刊書。</p>
所在	6F開架閲覧室
請求記号	378/Y31
資料ID	14111670



読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学科名	心理・福祉学部 社会福祉学科
書名	『ホワイトバード』
著者名	R・J・パラシオ [原作] / エリカ・S・パール [ノベライズ] / 中井はるの [訳]
出版者名	ほるぷ出版
推薦書評 コメント (50字～200字)	第二次大戦中にナチス・ドイツ軍に占領されたフランスで、ナチスによるユダヤ人迫害を生き延びた少女と少女をかくまったクラスメートの少年の物語。物語は少女の孫にあたる少年が現代のニューヨークから携帯電話で祖母である少女の話聞き取る形で展開される。フランスにおけるホロコーストやレジスタンスの解説が詳しく、わかりやすい。明るく力強い黄色の表紙やユーモラスなイラストが用いられている点も親しみやすさを生んでいる。既に推薦して図書館の新刊コーナーに置いていただいている本。
所在	6F開架閲覧室展示コーナー
請求記号	933.7/P17
資料ID	14089527



読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学 科 名	心理・福祉学部 社会福祉学科
書 名	『文明は〈見えない世界〉がつくる』（岩波新書；新赤版1643）
著 者 名	松井孝典
出版者名	岩波書店
推薦書評 コメント (50字～200字)	文明は科学の目が明るみに出す〈見えない世界〉によってつくられる。〈見える世界〉の奥に潜む〈見えない世界〉。人間はその原理と法則をもとめて、思考と思索の長い旅を続けてきた。古代から現代までの文明史を俯瞰し、科学技術の発展とともに急速に広がる〈見えない世界〉の意味を問い、文明の未来とその新たなる可能性をさぐる。私たちの今ある世界を客観的に捉える視点が新鮮です。
所 在	5F開架ポピュラーライブラリー
請求記号	SN
資料ID	14111123



読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学科名	心理・福祉学部 社会福祉学科
書名	お姫様とジェンダー：アニメで学ぶ男と女のジェンダー学入門 (ちくま新書；415)
著者名	若桑みどり
出版社名	筑摩書房
推薦書評 コメント (50字～200字)	「白雪姫」「シンデレラ」「眠り姫」などのプリンセスストーリーはますます大量に消費されている。大量に消費されるからその影響力も絶大である。ディズニーのアニメを題材に、昔話にはどんな意味が隠されているのかをを読み解く。いつの間にか思い込まされている「男らしさ」「女らしさ」について再考するきっかけを与えてくれる本。真の男女共同参画社会とは？
所在	6F開架閲覧室
請求記号	367.1/W19
資料ID	14112936



読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学科名	心理・福祉学部 社会福祉学科
書名	絵画を読む—イコノロジー入門 (ちくま学芸文庫;ワ-4-5)
著者名	若桑みどり
出版社名	筑摩書房
推薦書評 コメント (50字～200字)	全裸のヴィーナスは何を表したのか？絵画の持つ意味、それを解釈するにはどうしたらよいか。その基礎的方法論のひとつとして挙げられるのが図像解釈学〈イコノロジー〉です。本書ではボッティチェッリ「春」、ブリューゲル「バベルの塔」等、著名な12作品をとりあげ、その背後にある思想や意味世界への接近を試みています。イメージの読み解きによって、美術の深みと無限の感受性への扉が開かれるでしょう。一読してみれば、新しい世界が見えてきます。
所在	7F開架閲覧室
請求記号	723.3/W19
資料ID	14105425



読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学科名	心理・福祉学部 社会福祉学科
書名	ゴリラの森、言葉の海
著者名	山極寿一／小川洋子
出版社名	新潮社
推薦書評 コメント (50字～200字)	野生のゴリラを知ることは、ヒトが何者か、自らを知ること—アフリカの熱帯雨林でゴリラと暮らした京都大学の霊長類学者(山極寿一)と、その言葉なき世界の気配を感じ取ろうとする小説家(小川洋子)の対談集である。ゴリラの森を知ることで現代に生きる人の本性につながる。人の言葉の力は道しるべとなり、ゴリラの森と言葉の海は地続きとなる。お二人の深い対話がワクワク感を呼び起こしてくれる本である。
所在	7F開架閲覧室
請求記号	489.9/Y23
資料ID	13807795